

科目コード	E2124	科目名	保育内容（環境）				
履修区分	教育課程表参照	開講期	2年後期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	林 よし恵						
授業の概要	保育内容（環境）は、「周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」観点から子どもの育ちを支えていく領域である。また保育の目標には、身近な環境に対しての思考力の芽生えを培うことも掲げられている。この授業では、子どもの発達に応じて、そのためのねらい・内容の理解を深めるとともに、指導・援助、教材研究の方法を実践的に学ぶ。						
DPとの関連	平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける						
	人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける						
	修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける						
	教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける						
	社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力						
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	1. 幼稚園教育要領・保育指針における領域「環境」のねらい・内容を理解する 2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、3つの資質・能力を育むための保育内容や指導・援助を考える 3. 幼児の具体的な指導場面を想定した教材研究や環境構成を構成する方法を身につける						
履修上の注意事項	コースによって「履修区分」が異なります。教育課程表をよく確認してから履修登録を行ってください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	ガイダンス：領域「環境」の成り立ち				事後学修：資料を基にノート記述（30分）	
	2	秋野菜の植え付けとその育ちを体験する（演習）				以後、経過観察をする（毎日10分）	
	3	身近な植物とのふれあいと遊びを学ぶ（演習）				構内の植物に親しむ（30分）	
	4	身近な虫や小動物に親しむ（図鑑や絵本を使って）				自身の幼児期の体験を振り返りレポートを書く（30分）	
	5	幼児にとっての環境と平和教育を考える				事前学習：幼児に必要な環境について考える（30分）	
	6	「3つの資質・能力」「10の姿」の理解と子どもの発達を踏まえた保育について考える				事前学習：幼稚園教育要領・保育所指針を読む（30分）	
	7	領域「環境」のねらい・内容との関連を読み取る 保育環境の様々な工夫を知る				事前学習：幼稚園教育要領 領域（環境）を一読（30分）	
	8	領域「環境」を対象とした指導計画の作成と手順：模擬保育を体験する				事後学修：指導計画を読み取り、ノート記述（30分）	
	9	自然の中での保育の意義を考える				事前学習：教科書を読む（30分） 事後学修：ノート記述（30分）	
	10	自然の中でのリスク管理について考える				事前学習：教科書を読む（30分） 事後学修：ノート記述（30分）	
	11	自然の中でのまとまった活動（戸外での集いを体験する）				事前学習：教科書を読む（30分） 事後学修：ノート記述（30分）	
	12	虫などの小動物とのかかわり				事前学習：教科書を読んで、自然とのかかわり・生命尊重の意義を考える（30分）	
	13	花や草などの植物を使った遊び				事前学習：教科書を読む（30分） 事後学修：3回目の授業との比較してノート記述（30分）	
	14	火を使った遊び・活動を体験する				事前学習：教科書（木・水・火の活動）を読む（30分）事後学修：ノート記述（30分）	
	15	生涯の環境教育について考える：レイチェル・カーソン 感性の森 DVD視聴				DVDを視聴して、幼児の環境教育についてのレポートを書く	
成績評価方法	授業の最後にノート提出50% 課題レポート50%						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	身近な自然を活かした保育実践とカリキュラム 松本信吾（中央法規出版）					978-4-8058-5759-5	
参考書	センス・オブ・ワンダー レイチェル・カーソン 上遠恵子訳（新潮社）					4-10-519702-9	
	森に還ろう 自然が子どもを強くする 河合雅雄（小学館）					4-09-387457-3	
教員からのメッセージ	子どもたちの育ちにとって、どのような環境が必要か、自分の幼少期をふり振り返りながら授業に真摯に向き合って考えることに取り組んでみましょう						
教員との連絡方法	林 よし恵 saku317@fb4.so-net.ne.jp						
実務経験のある教員	・公立保育園、療育センター、大学附属幼稚園において、保育及び療育の場における子どもの環境を考える 実務体験あり。 ・教育学部 初等教育科4回生 保育内容（環境）非常勤講師。						